



〒370-3534 群馬県高崎市井出町1514番地 上毛野はにわの里公園内
TEL:027-373-8880/FAX:027-373-8822
Email:kamitsuke-museum@city.takasaki.gunma.jp

かみつけの里博物館

検索

はにわ馬
—古墳時代、最先端の乗り物をどう造形したのか。

2025年
12月6日(土) — 2月23日(月)

2026年

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週火曜日、祝日の翌日（2月12日）年末年始（12月28日～1月4日）
観覧料：大人200円（団体160円）大高生100円（団体80円）
*団体は入館者20名以上

*中学生以下・65歳以上、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

事業後援：NHK前橋放送局／FM GUNMA／群馬テレビ／ラジオ高崎

50周年記念路

高崎市内で出土した馬形埴輪が大集合！ 名古屋市博物館所蔵品は、群馬へ里帰り！！

2026年は十二支で「午」年にあたります。県名「群馬県」は、古墳時代に馬の生産がさかんに行われていた地域だったことに起因とした学説もあります。高崎市内には約1300基の古墳がありますが、5~6世紀に築造された古墳に馬形埴輪が立て並べられることが多く、90点以上確認することができます。その造形をみると、きらびやかな馬具を表現した飾り馬や、人をのせる鞍をつけない裸馬などがあります。

今回の展覧会では、高崎市内から出土した馬形埴輪の実物資料をじっくりと観察しながら、馬体や馬具の表現方法、その変遷について掘り下げてみたいと思います。

あわせて、馬形埴輪に近い場所から出土する人物埴輪「馬を曳く人」を、7体展示します。



馬形埴輪と馬を曳く人(下里見諏訪山古墳)



馬形埴輪と馬を曳く人(太子塚古墳)



馬形埴輪(井出北畠遺跡)



馬形埴輪 名古屋市博物館所蔵(伝:箕郷町)

- 交通のご案内**
- JR 高崎駅から、市内循環バスぐるりん大八木線「北高先回り」で井出町西下車徒歩 10 分
 - JR 前橋駅から、関越交通バス「土屋文明文学館行」 かみつけの里博物館前下車すぐ
 - JR 高崎駅からタクシーで約 30 分
 - 関越自動車道「前橋 IC」から車で約 15 分。

●バス時刻表

《博物館⇒高崎駅》市内循環バス ぐるりん大八木線 バスのりば⑨(運賃大人 200 円)

北高先回り	高崎駅西口	9:45	11:45	13:45	15:20
系統番号⑤	井出町西	10:20	12:20	14:17	15:55
中尾先回り	井出町西	9:57	11:54	13:25	15:25
系統番号⑥	高崎駅西口	10:29	12:29	14:00	16:00

《博物館⇒前橋駅》※土屋文明文学館⇒前橋駅
関越交通 博物館～三ツ寺～前橋駅(運賃大人 490 円)バスのりば⑤

※月～金 祝日除く	前橋駅	8:40	10:30	12:30	14:00	15:55
	博物館前	9:06	10:56	12:56	14:26	16:21
	博物館前	9:39	11:44	13:14	15:09	16:57
	前橋駅	10:11	12:16	13:46	15:41	17:29
※土・日・祝	前橋駅	8:40	10:50	12:40	14:55	
	博物館前	9:06	11:16	13:06	15:21	
	博物館前	9:39	11:39	13:54	15:47	17:37
	前橋駅	10:09	12:09	14:24	16:17	18:07

—古墳時代、最先端の乗リ物をどう造形したのか。

はにわ馬

HANIWA UMA

講演会 申込方法 電話による事前申込(先着順)
申込開始日 2月2日(月)午前9時30分から

定員70名

日 時 令和8年2月8日(日曜日) 午後1時30分～
講 師 斎藤直樹氏(藤岡市教育委員会)
演 題 「馬形埴輪を考える-高崎市内出土品を中心として」
会 場 研修室
費 用 観覧料200円(中学生以下、65歳以上は無料)

学芸員の展示解説 申込は不要(当日受付で先着順) 定員15名

日 時 令和8年2月7日(土曜日)、14日(土曜日)の2回
午後1時30分から30分程度
会 場 企画展示室
費 用 観覧料200円(中学生以下、65歳以上は無料)



かみつけの里博物館
The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology

〒370-3534 群馬県高崎市井出町1514番地
上毛野はにわの里公園内 電話 027(373)8880